



謎の  
スクちゃん と えちゃん : たい

どんな命令でも言ってください  
とは言いましたが

まさかこんなことを  
言われるとは正直  
思っていませんでした

ある日マスターさんに部屋に呼び  
出された私は高級和菓子を餌に  
ふえらちお!? という行為を  
お願いされました  
令呪をつかって命令すれば良いのでは  
と聞くにあくまで私の意思で  
シでもらうことに意味があるのか……  
正直よくわかりません

正直やりたくはありませんが  
高級和菓子のため……  
下手でも文句言わないでくださいね



ん……ちゅっ  
酸っぱい……分かってましたけど  
あまり美味しくはないですね……

あ、マスターさんの  
ビクビク震えてますけど  
男の人はこんなことが  
好きなのですか？

れろ

れろ

まあ……続けます んっ……



あ、先から何か出てきました  
しょっぱいような……変な味がします

ん……おいしかってっ

ちゅる、  
ちゅる、

美味しいわけじゃないじゃないですか  
こんなこと早く終わらせて高級和菓子を  
買いに行きたいです

ジュレ

ジュレ

ジュレ



また何か出てきました  
ん……こっちは苦いです  
においも……とても臭い……です

これで終わりですか？  
では新作和菓子の探索に  
出かけましょう

でもなぜだろう……  
嫌いな愛ではありません  
高級和菓子に通じる趣きある味……  
身体の奥がなんだか熱くなっています

この日からマスターさんは  
高級和菓子を餌に私に  
色々とお願ひしてくるようになりました



翌日も同じ時間にマスターさんの部屋に呼び出されました。

はあ……今日は何をすればいいですか？  
え……何もなくていい？  
ここに寝てるだけでいいですか？わーい

あつ……マスターさんの気が悪いです  
早く済ませて和菓子を買に行きまじよう





マスターさん、  
痛くないのですか？  
これが気持ちいいんですか？

マスターさんが必死に  
腰を振り始めました。  
がっしりと私の下半身を  
掴んで…多分凄  
い摩擦があると思うのですか……

すん……あ……っ  
すく激しく動くんですね





マスタさんの腰の振りが  
どんどん激しくなっていました。

んあ…昨日と同じお汁がでて…  
股がぐちよぐちよになっちゃいました

でもコシ…いい潤滑液に  
なっただんじやないですか？



んっ……んっ

私は無意識に脚をぐりぐりゆゆと動かしてました。マスターさんがとても苦しそうな表情をします。

何をするんだ……？  
え……と……そう？  
マスターさんが気持ちよくなると思っで  
ダメなら動きませ  
もっど動かしてくれ？  
はあ……分かりました



んっしょ...んっしょっ

はあ...なんだか身体が  
熱くなってきたよ  
ヨク...お汁だけじゃ  
マ...さんのお汁で...  
私...から...ますの

あっ...マ...さん  
昨日も...ました...  
別のお汁が出るんですね

ぞしん

スチ

んっしょ

んっしょ

スチ

んっしょ

んっしょ



はあ……はあ……  
大丈夫ですか？マスターさん  
凄く険しい表情を  
してましたけど

マスターさんのお汁が私の  
身体にかかって……  
この臭い……何故だか  
身体のお腹の奥が  
凄く熱くなっています

気持ちよかったです……？  
まあ私も最後の方は  
気持ち悪くはなかったですし  
マスターさんが満足できたなら  
良かったです

では早く着替えて  
今日も和菓子を買  
いに行きましょう

今日も動かなくていいのですか？  
いえ、昨日私が動いて気持ちいいと  
言っただけだったので

今日もマスターさんの  
部屋に呼ばれました。  
またあのお願いをされるのだと  
思うと始める前から  
身体が熱くなっています。

それにしてはこの体勢は少し..  
いえかなり恥ずかしいですね  
前と違って心臓がすごく  
ドキドキします



は……あ……っ  
マスター……あ……っ  
あ……っ……っ  
❤️

目で見えない分  
マスターさんのモノが  
擦れる感じが  
すごいです。  
遠慮なく触ります。  
❤️

ん……っ  
すん……あ……っ……は……っ  
声が……ま……せ……ん……は……っ  
手に……に……は……っ  
は……あ……っ  
❤️



はあ……♥  
マスターさんまた苦しそうな  
表情をしています

最初はわかりませんでした  
が、どうやらこの表情は  
気持ちいいのを我慢している  
らしいです

マスターさんが私で気持ちよくなるまで  
その感じると私も嬉しくなっています  
身体が益々熱くなっています







はあ……はあ……んっ♡  
マスターさんの先っほが♡  
私に股にあたって……んっ♡  
♡♡♡

スバツ越して……はっ♡  
引っ挿いで……あ♡  
それ今……あ♡  
濃い匂いが……♡

お汁が溢れて  
止まらせんっ♡  
♡♡♡

ぬっちゅ  
ぬっちゅ  
ぬっちゅ  
ぬっちゅ  
ぬっちゅ

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

はあっ♡あっ♡あっ♡  
すみせんマスターさん  
声…止まらなくて…っ♡

もっと…聞きたい…?  
んあっ！マスターさんは  
変態…ですっ♡

あっ♡あっ♡  
動きが激しくっ♡ため…ですっ♡  
何かくる…♡身体の奥から何かっ♡  
んあっ♡あっ♡  
んっ！！あっ♡  
♡♡♡♡







今はあー♥はあー♥  
頭の弾んで電気が  
流れた中みたくにっ

お汗また出ます……  
お尻すくく熱い♥  
はあ……♥  
何故かここにお汗  
また出たか……  
また出たか……  
また出たか……

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ……はあ……  
今日は終わりですか？  
満足してないようでしたら  
私大丈夫ですので——

あ……満足……？  
そう……ですか……  
いえい何でもありません

え？私が満足してないように  
見える？  
な、なにを言ってるんですか！  
斬っていいですか？

早く着替えて  
今日も和菓子  
買いに行きますよっ

はぁ……はぁはぁはぁ

身体が熱いっ  
昨日マスターさんのお願いが  
終わってからずっと……♡

ほしい……あのお汁が♡  
マスターさんのが♡

はぁ

はぁ



今日私はマスターさんに呼び出される前にマスターさんの部屋へと来ていました。どうやらマスターさんはどこか出掛けているようで部屋にはいません。私はベッドに横になると昨日の事を思い出します。

「あー」

「あー」

ここ……ここがキyunキyunするもつパンツもくちやくちやくてどうしても抑えられないっ

触つたら昨日みたいに気持ちよくなる……かな



んっ…あ…んあっ♡

恐る恐る指でなると  
そくそくするよ様な感覚が  
身体に走りビクビクと  
震えてしまいます。

は…あ…んっ♡…んっ♡…んっ♡  
あっ♡…んっ♡…んっ♡…んっ♡  
すこい♡…身体がびくって…んあ♡

中でも身体が一番でっかい  
ところを見つけてそこを重点的に  
触っていきます。





ダメだと分かっているけど  
指を止めることはできませんでした。  
激しく動かさないと  
激しくなっていくます。

あっ♡だめっ♡んっ♡  
声…でちや…だめなのよに♡

はあっ♡んっ♡あっ♡  
あそこ…ひくひくっ♡  
おしこすところなの…あっ♡  
きもちいい♡んあ♡  
あ♡



これ……直接触つたら  
もっと気持ちいいのかな……？

そっと思ってしまったらもう  
試さずにはいられません  
私は下着を脱ぎ直接  
指を這わせ触り始めます

わくわく

わくわく

わくわく

わくわく

わくわく

わくわく

わくわく



ふあっ♡……んあ！♡ あっ♡♡

先ほどとは比べ物にならないほどの快感が身体に走りました。

あっ♡きまむ……♡♡♡  
いいなあ……♡♡♡

思わず腰が逃げるほどの快感、でも指の動きは止まることはありません。





私はもう何も考えられなくなりました。ひたすら指を挿き混ぜ快感を得ます。

はっ♡あんっ♡んんっ♡

指を入れただけで身体がじくじくおまんこが収縮し指をキツく締め付けます。

んんっ♡あんっ♡あ……ああ♡

はっ♡あんっ♡んんっ♡



あっ！キチャうっ！くるっ♡  
でちゃ...うっ♡んっんっ！♡♡♡

あっ...あっ♡  
何か...でちゃうっ  
おしこ...でちゃうっ

あっ！

あっ！

あっ！

あっ！

あっ！

あっ！  
あっ！  
あっ！  
あっ！



はあ——はあ——

頭が真っ白になって……  
何も考えられないほどの快感でした。  
すごい脱力感です……

ココにもし私の指より何倍も大きく  
硬いマスタリーさんのが入るなら……  
想像したただけでまだ身体が熱く……

ハ  
タ  
タ  
ッ

!?  
言のした河を見るといつの間にか戻ってきていたのか  
マスタリーさんがこちらを見て立っていました







マ、マスターさん？

気付いた時には私はマスターさんに  
押し倒されていました。そして  
そしてマスターさんはすぐに服を脱ぎ  
既に硬く剛直したおちんちんを  
取り出します。

す、すごくおっきくなっています  
今までで二番おっきいです...

いんき

いんき

いんき

いんき

いんき

いんき



マスターさんのおちんちん欲しい♡  
マスターさんのおちんちん欲しい♡  
入れてください♡♡

ふぁ♡マスターさんの  
ピクッて動きました♡  
もう一度言ってほしい？  
マスターさんは  
やっぱり変態ですね

トホッ

身体が熱く火照り  
理性を溶かしていきます。  
私は本能的に思っただことを  
口にします。

はぁはぁ♡  
マママスターさん♡  
欲しいです♡  
マスターさんのおちんちんが  
欲しい♡

ピクッ

ピクッ





びゅん

もっと奥まで入れたいんですか？  
いいですよんっ♡  
まだ全部入ってないですしね…  
マスターさんの好きにしてください♡♡

私のナカでおちんちんが  
ビクビク震れてます♡  
マスターさんの表情も  
気持ちよさそう♡

は……あっ……んっ♡

しゃく

しゃく

びゅん

びゅん



おんあはっつ...  
い... の... はっつ...  
入... て... っ... き... え! が...

ズク  
ズク

ん  
ん



いんあ  
いいで動いて  
私にですよ  
おマスターさん  
お汁を下さいの

あそこが少しスキスキと  
痛みますがそれ以上に  
フワフワした気持ち  
身体を包んでくれます

痛くないか？  
大...丈夫ですっ

はあはあ  
あそこの中で  
フツフツ

ん  
△

ん  
ん



マスターさんはゆづりゆづり  
腰を前後に動かして始めます。  
多分私からたしを気遣って  
くそんなマスターさんよう。  
そんなマスターさん熱く  
触れて私の身体はとんとん熱く  
なつていきます。

あっ♡ん……はぁ♡

ぽっ

ぽっ

ぽっ

ぽっ

ぽっ

ぽっ

ぽっ



マスターさんの表情が  
どんなに険しくなっても  
私で気持ちよく  
なってくれてる♡

奥…突かれると…あ♡  
身体ビリッてきて…んっ♡  
きもち…いいです♡

んっ♡あ…あっ♡はあ♡  
マスターさんの…っ♡はあ♡  
おちんちん奥まで入ってるの  
わかりますっ♡

ちやいっ

ちやいっ

ちやいっ

ちやいっ

ちやいっ

ゴッ

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡





はっはぁ♥んあぁ♥あっ♥  
頭ホーツとして熱い♥ですっ♥

最初に感じた痛みは  
もう無くなり次第に快感だけが  
身体を支配していきます

あっ♥何か…くるっ♥  
さっ♥自分でシた時と  
同じ感覚♥あっ♥あっ♥







あすんつ……まだ出てます♡  
あつたい♡お腹の中いっはいで

アツたい♡

アツたい♡

ん、ん、ん



はあ——はあ——♡  
いっぱい溢れています♡

昨日から纏っていた  
身体の疼きが治まりました。  
マスタートさんのおちんちんとお汁を  
ナカに出してもらったからでしょうが。

ありがとうございます♡  
マスタートさん♡  
お礼を言いたいのはこっちゃん。

……？はあ……  
また身体が火照ったら  
お願いします。

トキ

トキ

トキ

トキ

今日もマスターさんのおちんちんは  
一段とおっきくなってます

すん すん

相変わらす凄く臭いで  
ごん汚いものはどても  
私の膣に入れたくないので  
綺麗にしないと

マスターさんも私に舐めてほしい  
みたいですし  
フェラチオ始めますね



はむっ  
すんちゅっ  
すこい味  
れす  
す  
しゅるるっ  
♡

回の  
マの  
ア中  
ひタ  
ろが  
が  
つ  
て  
ま  
ん  
の  
臭  
い  
と  
♡

しゅる、  
ちゅる、

しゅる、

ちゅる、

ちゅる、

ちゅる、

んじゅっ♡じゅるるっ ちゅっ♡  
知ってました？実は私少しおかしんです  
クラス的に

じゅるるっ♡

ちゅっ♡

じゅるるっ♡

マスターさんの事ちよっ♡  
おいしそなたなっ♡  
みでいんちんさちよっ♡  
みていんちんさちよっ♡  
みでいんちんさちよっ♡

だめですか……  
んちゅっ♡まみ舐めるだけ  
んちゅっ♡んちゅるるっ♡







ちゅるちゅるっ んっ♡ んっばあ…  
どうしました？  
私が……すぐくえっちになった？

それはマスターさんのせいです  
このおちんちんが美味しくて…  
いえ、美味すぎるからです♡

だから…かじりたくなるんです♡  
はあむ♡





んっ♡んっ♡ちゅぶぶっ♡  
マスターさん私が好きな険しい表情  
をしています♡

いいですよ♡  
好きな時に私の口に  
出して下さい♡

んっ♡♡おひんひん口の中で  
暴れだえ♡♡

ちゅぶぶっ♡

ちゅぶぶっ♡

ちゅぶぶっ♡

ちゅぶぶっ♡



欲しいんですっ  
マタインさんのつ  
いはひ...いっはす  
♡♡♡

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡



まんぷく♡まんぷく♡  
まんぷく♡♡♡♡♡

口の中も喉の奥まで  
マスターさんのでいっぱいに  
あふれそ♡♡♡♡♡  
あふれそ♡♡♡♡♡

最近の行為が魔力補給を  
兼ねていることを知りました。

マスターさんのおちんちんから  
私の中に魔力が入ってくるのを感じます♡



ん…すごい量でした♥飲みきれなくて  
ドロドロになってしまいました♥

んっ♥まだ硬いままですね♥  
マスターさんか…二度は膣内に  
あつは…だすんですよね？♥  
いっは…

ちゃっ  
はよ  
ちゃっ

ん  
ちゃっ





あっ.....♥

ガッ

ガッ

グッ

私はそのまま押し倒され  
マスタさんに腰をかざれ  
掴まされてしまいました。しり  
熱くて硬いモノがお尻に  
擦り付けられてます。尿に  
マスタさん息かすとてちい  
すは今から私の涙茶苦茶に  
する気マンマンです。♥







奥まで……Neoの  
「突きおける度」頭の  
奥まで響かす……♡  
頭の奥まで響かす……♡

おん……♡

おん……♡

おん……♡

おん……♡

おん……♡



はあっ  
おちんちん中で膨れてっ  
ゴしは射精の合図  
私もイきまうっ  
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡





熱いのがいっぱい出てくる♡  
おまんこ……マスターの精子で  
溢れてる♡

魔力が溢れて……♡  
身体が熱いの♡

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ















はあ——はあ——  
魔力が……力が溢れて……ん♡

今なら黒竜双剣勝利剣を  
いくらでも……はっ♡  
うてそうです♡

これからは糖分補給よりも  
コシをお願いします♡  
マスターさん♡  
ええ、毎日です♡

ん♡

ん♡

数日後

普段はマスターさんばかり動いてもらっているので

今日は私がマスターさんを気持ちよくします♥

あれから毎日マスターさんに魔力補給を  
シてもらうようになりました。  
今日はクレストも消化済みで一日中  
マスターさんに魔力を補給してもらえます  
想像しただけで...はあ♥  
おまんこが疼く♥

ぞくぞく

はっ

はっ







んあ♡は...あ♡  
キツい...おちんちん♡  
前より遅くもキツいです♡  
何度入れても♡

チンポが霊基再臨した？  
はあ...せっかく褒めで上げたのに  
冗談はいいです  
さっさと始めちゃいましょう

びしょ♡

びしょ♡

びしょ♡



はっ...あ...はあ♥  
おちんちんのエラに...  
おまんこ掻き回されてっ♥

自分の気持ちいいとこ  
当たって...んんっ♥

め...や...  
め...や...  
め...や...

め...や...  
め...や...

め...や...  
め...や...

め...や...  
め...や...

め...や...  
め...や...

め...や...  
め...や...

め...や...  
め...や...



あっ♥んっ!  
キたあ...おちん...ちん  
ビクビクっ♥♥

早速マスターさんの魔力を  
精液を補給っ♥♥♥

マスターさんの射精...  
あの奥の奥が爆発するような  
感覚が...のたが想像するだけで  
おまんこが...とキョンキョンして  
身体が...と熱くなります♥

ぐっ  
ぐっ  
ぐっ

ぐっ  
ぐっ

ぐっ  
ぐっ

ぐっ  
ぐっ

ぐっ  
ぐっ

ぐっ  
ぐっ

ぐっ  
ぐっ

ぐっ  
ぐっ







は...あ...あ...

おちんちんがドクンドクンと脈打ってるのが分かります...♡♡♡

出した精子が...魔力となって私の子宮に身体に染みこんでくっつく♡♡♡の感覚が...♡♡♡

おろろ  
おろろ





今日は私が動いて  
気持ちよくあつっ！  
あつっ！  
あつっ！

あ……だめ……んあ！  
勝手に動いちゃあつっ！  
ああつっ！

んあ！

んあ！

んあ！

んあ！

んあ！

あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！

あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！

あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！  
あつっ！

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

マスターさんのおちんちんが  
私の腰内で暴れて  
何度も突き上げてきますっ♥  
もう何も考えられませんが  
マスターさんをおちんちんを  
精子を求めて……っ！♥♥♥

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥

あっあっ♥んあっ♥はっ  
奥まで届いて……深ひっ♥♥♥





は……はあ……うっ♡

頭……まじっ♡……き♡

結局マスターさんが動いてしまいました。  
それにしてもマスターさん最初から  
トハし過ぎてす♡  
まだ始めたばかりなのに  
この勢いで三日中シたら  
私壊れちゃいます♡♡

The Pro

The Pro

今回もマスターさんは  
力が抜けて動けない  
私を思いすぎて犯す気  
マンマンです♡♡

この体勢はマスターさんが  
好きな体位のように  
よき体位です♡  
優しくしてください♡  
激しく突かれます♡

二度の射精で少し柔らかく  
なりつつあったマスターさん  
のおちんちんでした♡  
おちんちんのおまんこ  
で私のおまんこを  
ドクドクと脈打ち復活しました♡

おんん♡ あっ♡  
おちんちんまた硬くなった♡







同じおちんちんなのにっ♡  
さっきと全然違うトコロだったって♡  
扶られるっ♡

ん

ん

ん

ん

おん

おん

おん

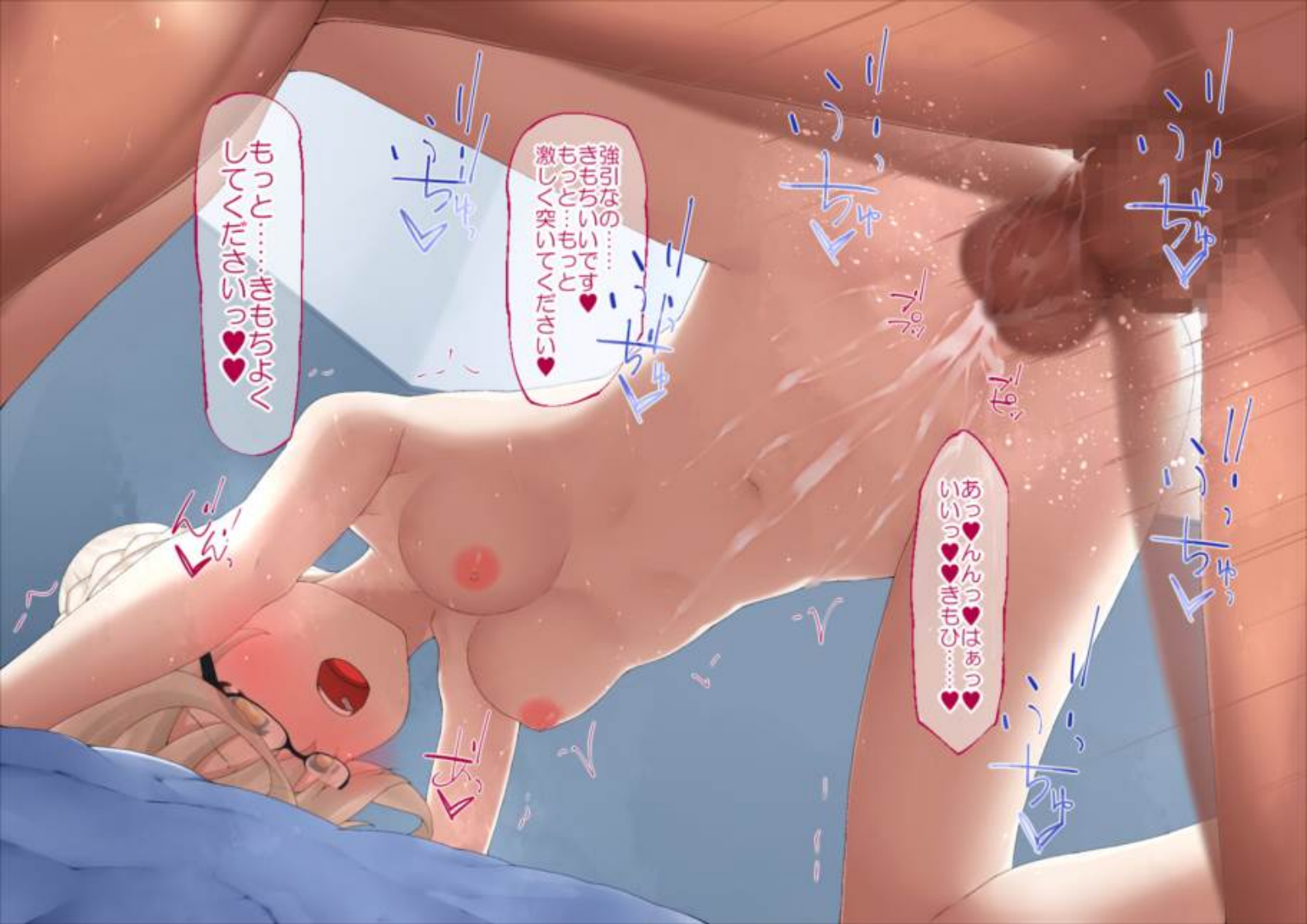
おん

おん

ん

ん

おん



もっと……きもちがよ  
してくだいっ♡♡

強引なの……  
きもちいいです♡  
もっと……きもち  
激しく突いてください♡

あっ♡ん♡つ♡はあっ♡  
いっ♡ん♡きもち♡

ん♡

ん♡

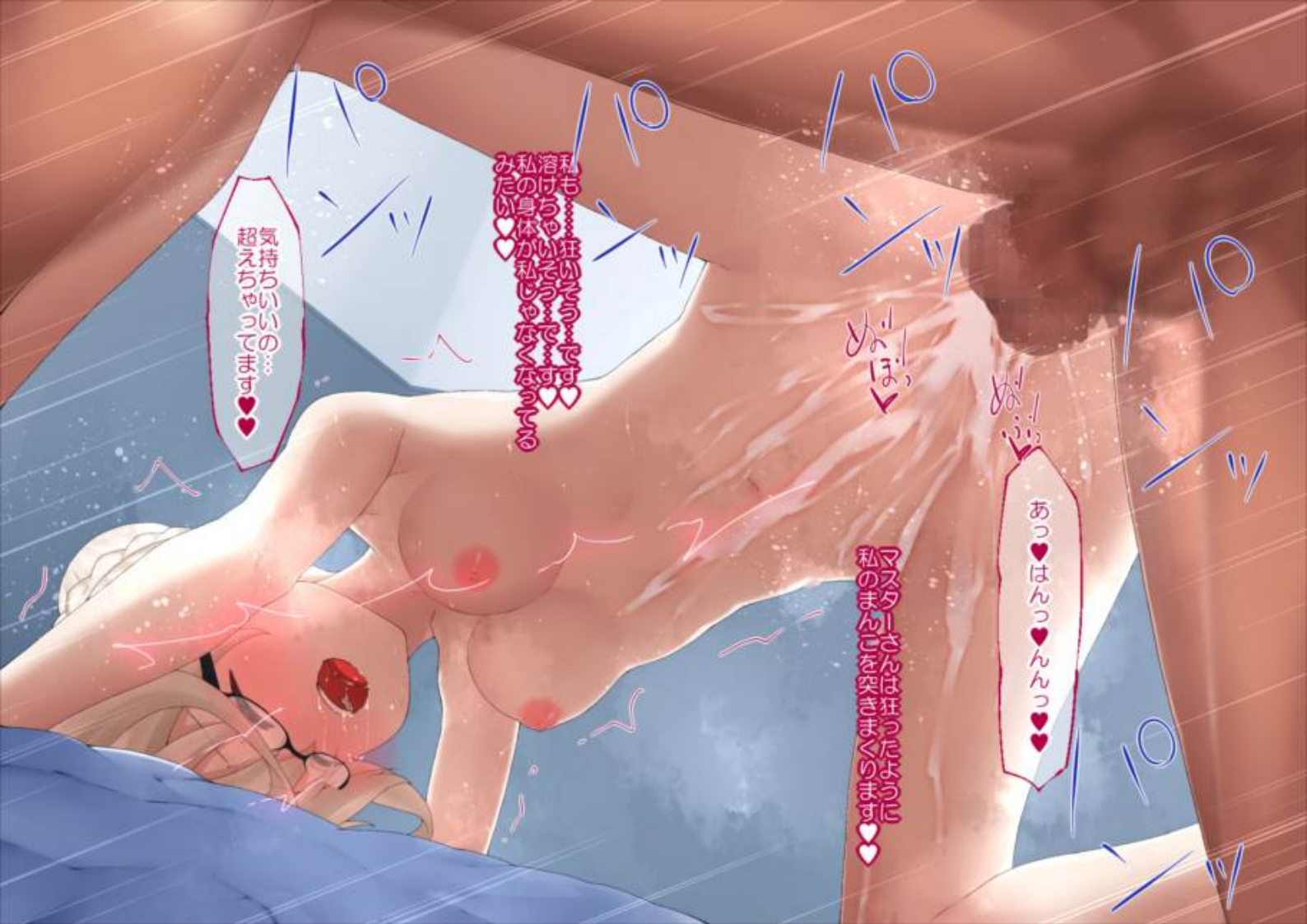
ん♡

ん♡









気持ちいいの…  
超えちゃってます♥♥

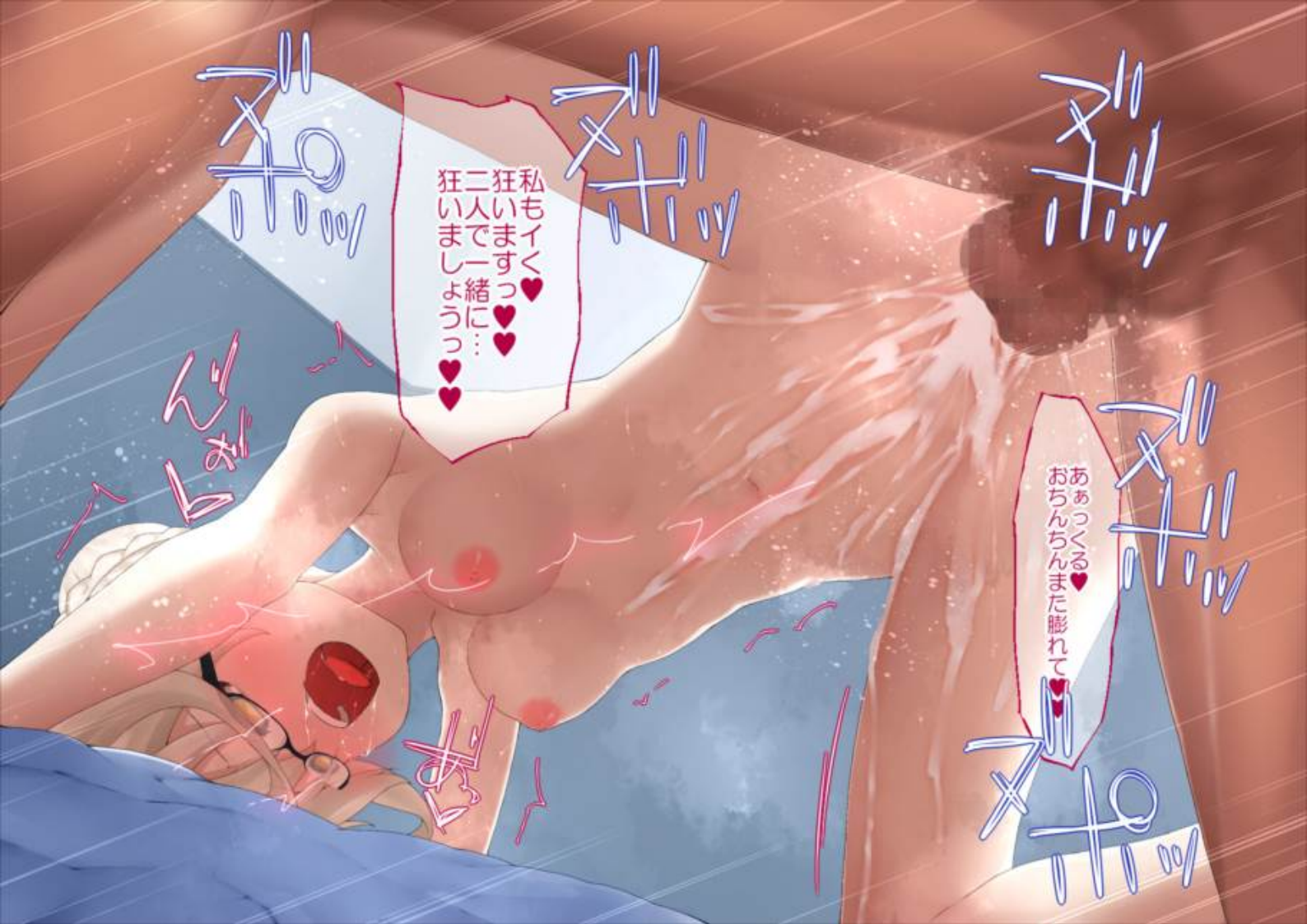
私も…私も…私も…  
溶けちゃいます…  
私の身体が私を…  
みたい♥

めいっほっ

あっ♥はんっ♥んんっ♥♥

マスターさんは狂ったように  
私のまんこを突きまわります♥♥





私もイケすっ♡  
狂いまで一緒♡  
二人でっ♡  
狂いましょっ♡  
♡

あぁっくる♡  
おちんちんまた膨れて♡

んんん

んんん







マスターさんの  
精子欲しくって  
身体ずっと  
震えています  
♡♡

あ  
おっ

んっ♡あああ  
とまらな...い♡♡

しゅっ  
しゅっ  
しゅっ

んっ  
んっ



私はそのまま  
全身の力が  
抜けて意識を  
失ってしまいました♡

凄まじい膣内射精と  
絶頂の快感で  
視界がクラクラします♡

はあ

たま

はあ—はあ—  
やっとおさまっ—た♡♡

ん……

寝ちゃってたようです  
あれからどれくらいの時  
間か経ったのでしょうか。  
わかってませんがずっと  
シスターさんとセックスを  
続けたことは覚えていま

途中お風呂と軽い食事を  
摂った後、それ以外は  
ずっとベッドの上でした。  
何度も何度も射精の度に  
子宮に溜まった古い精子を  
掻き出し新たな精子を注  
ぎました。  
そのたび私の意識はトんで  
いきましました。



あ♥

マスタさんは私が  
目を覚ましたことは  
確認したことが  
確かると顔の前で  
跨りおるとまじ  
近づいてきました。

おそろく私寝ている間も  
精液でいたでしよう  
そしてベツリと汚れています。  
目の前にあるということは一

お掃除…しますね♥

ギョッ

ギョッ



はあむ♡  
んちゅ…ちゅ♡

いっしょに寝てあげよう♡  
少し乾かしてあげよう♡  
所が念のため♡  
いれまはせ♡  
いせまはせ♡  
いせまはせ♡

ちゅ♡  
ちゅ♡  
ちゅ♡  
ちゅ♡

回の中に苦い味が…  
寝起き一番にマスタ…  
魔力を回から補給♡  
マスターさんの



ちんぽっ♥  
ちんぽっ♥  
ちんぽっ♥  
ちんぽっ♥  
ちんぽっ♥

ゴッゴッ  
ゴッゴッ

おちんちんがびくびく  
震えて尿道に残っていた  
精子が出ました♥

中出し綺麗♡

んっ♥  
んっ♥  
んっ♥  
んっ♥  
んっ♥

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

んっ  
んっ

ちゆるるっ♥ちゅっ♥んあ♥  
おちんちん…硬く♥  
なってきました♥  
んちゅ♥

射精したくなった？  
せつかく綺麗にしたのに  
まだ汚すんですね♥

いいですよ♥  
いっぱい汚してください♥

ちゅっっっっっ

ちゅっ

んっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ







んっはあー♡んっ♡

凄…濃厚でした♡  
しても二日中セックス  
してたとは思えません♡

おちんちんまた元気に  
なっていましたか？  
どうします？  
マスターさんが望むのなら  
今日も一日中部屋に  
引きこもりますか？  
私は動きたくないの  
それでもかまいませんが♡

結局今日も一日中部屋に  
引きこもることになりました。

え？今更だけど  
私がマスターさん  
どう思っているか？

本当に今更な質問ですね  
あれだけ私に色々おいて



…：それですね  
最初和菓子を餌に  
えつちなことを要求してきた  
時は驚きましたけど

毎日ちゃんと和菓子をくれますし  
えつちなことも…：魔力補給を  
兼ねていると解ればまあ

後半は  
気持ちよかったですし



今は好きですよマスターさんの事

ですからこの総身に宿る力の全て  
貴方に委ねます  
私のイカリとなり喜びとなってください

死が二人を分かつまで  
今後もよろしくお願いします

END